

市町村事務処理標準システムに係る各種状況について

1 市町村の導入支援の状況

- (1) 市町村事務処理標準システム勉強会の開催（平成31年3月15日（金））
 - ・50市町村、約90名が参加。
 - ・システムの概要や、導入に係る財政支援について説明。
- (2) トライアル環境を用いた説明会の開催（令和元年7月24日（水））
 - ・42市町村、約80名が参加。
 - ・システムのうち、導入必須機能である「資格管理」・「保険料（税）賦課」等の機能について、実際にシステムの画面を用いた説明を実施した。

2 県で設定する市町村事務処理標準システムのパラメータについて

- ・国保運営作業部会での議論等を踏まえ、別紙のとおりとしたい。

3 県クラウド環境の構築について

- (1) 意向調査について
 - ・今年度6月に、県がクラウド環境を構築した場合の加入意向調査を行った。

調査結果

- ・令和4年度に加入希望：2団体
- ・令和5年度に加入希望：8団体
- ・令和6年度以降に加入希望：15団体
- ・希望なし：29団体

4 今後の対応

- システムの導入支援について、市町村からのニーズ等に応じて今後も実施を継続。
- 県クラウド環境の構築について、令和4年度における構築は、財政措置、体制整備等の点から困難だが、令和5年度以降の構築を視野に入れ引き続き検討。